

豪快に **薪** で遊べる石窯クロスドーム

CROSS DOME

取扱説明書

薪専用 石窯クロスドーム



部品の確認



コンクリートパーツ × 8

- ① ベース板(後)
- ② ベース板(前)
- ③ 中板(左)
- ④ 中板(右)
- ⑤ 中板(前)
- ⑥ ドーム(左)
- ⑦ ドーム(右)
- ⑧ ゲート
- ⑨ 煙突
- ⑩ タイルキット

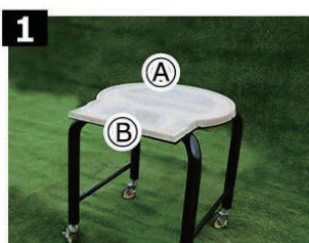


「タイルキット」

(タイルは別梱包になっています)
耐火セメント × 1、タイル 4 2 枚、ヘラ、
容器、ゲージ、マスキングテープ、スポンジ
※タイルはアンティーク仕様商品です。
※調整用に 2 分割タイルを入れています。

組み立て方

※架台は別売りです。



ベース板①②を置きます



中板③④を載せます



ドーム⑥を置きます



もう一方のドーム⑦を置きます



ゲート⑧を置きます



中板⑤を置き⑨を載せます
(煙突は接着しません)

注意

以下の事に注意して石窯を設置して下さい。

- 可燃性のものは近くに置かないでください。
- 石窯の底部も高温になりますので、
木製の設置台などのご使用は絶対に避けてください。
- ※組立て時に指を挟まないようにご注意ください。
- ※組立ての際には右画像のようになるべく隙間がないようにしてください。

なるべく隙間がないように
するのがPOINT!



タイルの貼り方

タイル貼りは付属のタイルキットを使って仕上げます。



「タイルキット」



容器にセメントを入れ、
水を加え混ぜます。
残り1袋は調整用です。



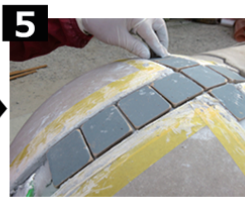
まずはマスキングしま
す。パテを団子状に丸
め、凹にヘラで伸ばし
ながら塗ります。



ゲージを使ってパテが
均一な厚みになるよう
合わせます。



タイル裏にもパテを
塗って1枚ずつ貼っ
ていきます。



中央からタイルを貼り、
最後に2分割タイルで
調整します。



はみ出たパテを濡れた
スポンジでふき取り、
マスキングを剥がせば
完成です。※1日は乾
燥させてください。



※完成イメージ

火のおこし方



小さな木切れに着火しま
す。



中央に小高く積んでいき
ます。



少しずつ大きな薪を入
れていきます。



大きな薪が燃えるよう
になったら片側に寄せて
調理スペースを作ります。

注意

商品の性質上、コンクリートは多少のクラック（ひび）が入りますが、性能は問題ありません。前もってご了承ください。

- ※ ご購入後1年以内で使用不能になった場合は、パーツ交換させていただきます。
- ※ 使用したクロスドームを分解して移動すると破損する恐れがあります。
- ※ 凍害の恐れがある地域では防水カバー・屋根の設置などでご対応ください。
- ※ 下記の事象は保証の対象にはなりません。
 - ・使用後のクラック・分解・移動・凍害による破損
- ※ 使用時は外側も高温になります。直接触らないようにご注意ください。

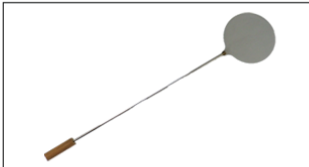
オプション

あると便利な小物たちをご紹介します！



スコップ

ピザや料理の出し入れがスムーズ。お皿が落ちない工夫あり。
材質：ステンレス・チーク材



パーラー

ピザを回すときに使います。
材質：ステンレス・チーク材



灰だし棒

窯に残った灰をかき出します。
材質：ステンレス・チーク材



蓋

窯の温度を調整したり、窯を使わない時の汚れ防止としても便利。
材質：ステンレス・チーク材



温度計

窯内の温度を測る時に。300℃まで。
材質：ステンレス（ケース）・強化ガラス（レンズ）



五徳

網を載せて使用します。魚や肉を焼く時に便利！
材質：ステンレス



テフロンシート

ピザの敷き紙。耐高熱性で、洗えば何度でも使用可能です。
材質：ガラス繊維テフロン加工